

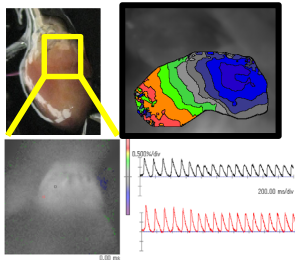
東京医科歯科大学難治疾患研究所市民公開講座 —最先端生命科学講座シリーズ 第6回—

東京医科歯科大学難治疾患研究所は、「難治疾患に挑む。」をミッションに掲げる研究所であり、2009年には文部科学大臣により難治疾患の全国共同研究拠点に認定されました。がん、心・血管病、神経疾患、骨・関節疾患、感染症・免疫病、生活習慣病など、幅広い領域にわたって研究していますが、本市民講座では、最先端の研究内容を一般の方々にわかりやすく紹介しています。今回は「不整脈」と「発生生物学」の研究を2人の講師がご紹介いたします。

日時：平成25年6月21日(金)午後7時～9時
場所：文京区シビックセンター5階会議室C

講演 1 不整脈はなぜ起きるのか？ マウスを使った突然死の研究

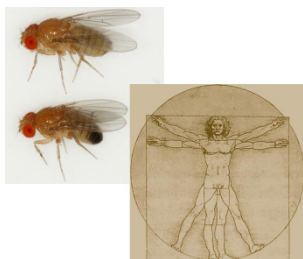
講師：笹野哲郎



不整脈は良く耳にする病名です。不整脈による突然死は日本で1年間に数万人以上といわれ、マラソン・サッカー等のスポーツ中にも約0.5%の頻度で突然死が起こります。今回、「疾患モデル動物」としてマウスを使った研究から、不整脈による突然死のメカニズムなどをご紹介いたします。

講演 2 ハエで何が分かるのか？ ハエを使った遺伝性小児難病研究

講師：佐藤 淳



医学・生物学の研究には、マウスを始め、数多くのモデル動物が使われています。ショウジョウバエは古くから使われているモデル動物の一つです。我々は、遺伝性難治疾患の原因究明を、ショウジョウバエを用いて、明らかにしようと試みています。今回は、ショウジョウバエが、どう「ヒト」に役立っているのか、研究の成果をお話します。

皆様のご参加をお待ちしております。(入場無料)

事前登録は不要ですが、予約を希望される方は文京区の担当まで住所・氏名・電話番号を記した往復はがきでお申込み下さい(区ホームページからも申込可)。

©〒112-8555 文京区アカデミー推進課 ☎(5803)1307

共 催： 学際生命科学東京コンソーシアムは東京医科歯科大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学と連携し、地域のみなさまと産官学連携によるイノベーションの推進に貢献します。